

上野原遺跡 再 探訪

～上野原遺跡集落跡発見の背景とその意義～
～後編～

発掘当時の上野原遺跡をふり返って

鹿児島県立埋蔵文化財センター
文化財主事 彌 榮 久志

当時、南九州の貝殻文土器は、器形が円筒形の平底で年代測定では8,000～9,000年前の分析結果が出ていました。しかし、全国的には尖底土器が平底土器よりも製作上古いとされていたので、「西日本から九州中部に広がる尖底土器の押型文土器文化よりも新しく、7,000～6,000年位前の縄文早期だろう。」という定説が主流でした。これらの貝殻文土器は上層のアカホヤ火山灰（※注1）、下層の薩摩火山灰（P14）の間層にあたる厚い腐植土層の中で出土し、日本列島南端という地域性とのからみで、縄文早期である説得性を具体的に提示できなかったからです。（P＝※注2）

この定説を払拭したのが、上野原遺跡第Ⅱ地点の発掘調査の成果でした。それは、P13（当時9,500年前）が貝殻文土器である前平式土器を出土した堅穴住居跡内の埋土中央部に円形をして堆積していたため、南九州の貝殻文土器は年代的に縄文早期に位置し、前平式土器は其中でも前葉にあたるのが判明しました。

この成果は、昭和48年頃から始まった九州縦貫道建設工事に伴う大規模の発掘調査を中心に、鹿児島県の考古学が火山灰堆積による遺跡の調査研究を積み重ねてきたことによるものです。それが肥やしになり、上野原遺跡の全国発信ができました。これは、火山灰研究による発掘調査の集大成として鹿児島県の考古学史の一頁となりました。

よって、これにより貝殻文土器は早期に設定され、今まで発見されていた加栗山遺跡、前原遺跡、永迫平遺跡等数多くの遺跡が縄文早期前葉の集落遺跡として認定されました。

これらを集約すると、旧石器時代以降の氷河期からの温暖化に伴い、日本列島の環境が南から変化し

始め、それに伴って、貝殻文土器文化の人々は縄文早期前葉に集落を多く形成する南九州独自の先進性を起こしたと考えられます。

最後に、この遺跡を残せたことは、発掘調査関係に携わった方々の汗の結晶だと思います。経過としては、記録保存から現地保存になり、最終的に国指定史跡にもなりました。そのことは今まで考古学をしてきた発掘調査冥利に尽きるものです。

（これらの火山灰の年代は平成8年度調査時のもので、現在は暦年較正によりやや古く設定されているものもある。）



※〈注1〉
アカホヤ火山灰は鬼界カルデラ内の竹島付近の噴出物で、現在は約7,300年前のものとされている。

※〈注2〉
「P」とはpumice（バミス＝軽石）の頭文字のPで、数字は桜島が軽石を出した噴火の番号である。数字が若いと新しい噴火である。番号はP1～17までである。ちなみに、P1が大正3年、P2が江戸時代の安永年間、P3が室町時代の文明年間である。現在はP11が今から8,000年前、P13が10,600年前、P14が12,800年前とされている。

第33回企画展「半径1500mの歴史と文化」 ～ 南九州市市川辺町水元神社をモデルとして ～

南九州市市川辺町水元神社を中心とした半径1500m以内には、県指定文化財の清水磨崖仏や、旧石器時代から近世までの遺跡が存在します。南九州市と共催で、「地域の歴史や文化を知る」モデルケースとして皆さまにご紹介します。

期間：平成24年4月14日(土)～6月10日(日)



企画展講演会
5月12日(土)13:30～15:00
講師：東川 隆太郎さん
(かごしま探検の会代表理事)

	日	曜日	申込	行 事 名	備 考	定員
4月	14～	土～		第33回企画展「半径1500mの歴史と文化」(～6月10日(日)まで)		
	21	土	*	縄文の森ウォーキング&グルメを楽しもう	参加料：500円	100名
5月	3～5	木～土		第9回縄文の森春まつり 10:00～15:00	無料(※一部体験メニューは有料)	
	10～20	木～日		ミニ企画展 国際博物館の日記念事業 ～見る・聞く・触る ジオの日～「地層が語る鹿児島島の遺跡」	無料	
	12	土		第33回企画展講演会 講師：東川 隆太郎さん(かごしま探検の会 代表理事)	大人向け、無料	
	19	土	*	考古学講座 第1回「時代概説～旧石器時代から古墳時代まで～」	大人向け、100円	80名
6月	2	土	*	一日縄文人体験「草木染め工房」	小学生以上、無料	30名
	23～	土～		第34回企画展「新発見!かごしまの遺跡2012」(～9月17日(月)まで)		
7月	30	土		第34回企画展講演会	大人向け、無料	
	7	土	*	鹿児島の遺跡に学ぶ 第1回「かごしまの大むかし」(場所：かごしま県民交流センター)	小・中学生向け、無料	50名
	14	土	*	考古学講座 第2回「縄文時代の植と食」	大人向け、100円	80名
	21	土	*	縄文の森不思議探検 第1回「灯火に集まる虫を調べよう」	小・中学生向け、無料	40名
	25	水	*	縄文の森不思議探検 第2回「大昔のくらしのふしぎ」	小学校5年生以上、無料	40名
	28～29	土～日	*	夏休み縄文キャンプ村 第1回	小学生以上(家族単位) 2,000円/1人	8グループ(40名程度)
8月	31	火		上野原縄文の森 ミュージアム・コンサート(第33回 霧島国際音楽祭)	無料	
	4	土	*	一日縄文人体験「薩摩焼にチャレンジ」	小学生以上(粘土代別途必要)	30名
9月	8～9	水～木	*	先生のための考古学講座	教職員向け	
	18～19	土～日	*	夏休み縄文キャンプ村 第2回	小学生以上(家族単位) 2,000円/1人	8グループ(40名程度)
9月	1	土		考古学講座 第3回 10周年特別講演「上野原遺跡から見えてきた縄文社会」(場所：単人農村環境改善センター) 國學院大学名誉教授 小林 達雄氏	大人向け	
	8～9	土～日		みて・きいて・あそぼう! 鹿児島県文化振興財団体験フェア2012(場所：宝山ホール)	無料(※一部体験メニューは有料)	
	29	土		縄文村の十五夜まつり・ミニコンサート	無料(※団子づくり等は有料で要事前申込)	

○ 詳細につきましては、上野原縄文の森までお問い合わせください。
○ 「*」がついているイベントにつきましては、事前申込が必要です。

開園10周年記念特別企画展

縄文人の匠の技

～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ～
期間：10月6日(土)～12月2日(日)
場所：上野原縄文の森展示館企画展示室

開園10周年記念

縄文の森 秋まつり

10月13日(土)・14日(日)
10:00～15:00 縄文の森体験広場

縄文シティサミット in きりしま

10月13日(土)・14日(日)
霧島市民会館
上野原縄文の森

【開園時間】 午前9時～午後5時
(展示館入館は午後4時30分まで)

【休園日】 毎週月曜日(休日に当たるときは、その翌日)
(4/29～5/5及び8/13～15は無休)
12/30～1/1(年末年始)

【利用料金】 (団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料
◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

縄文の森へのご案内

九州縦貫自動車道 → 溝辺IC → 車で約40分 → 上野原縄文の森
加治木IC → 東九州自動車道 → 国分IC → 車で約15分
鹿児島空港 → 車で約40分 → 上野原縄文の森
バスで約25分
JR鹿児島中央駅 → JR国分駅 → 車で約20分
日豊本線で約40～45分



【編集・発行】公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail:uenohara@jomon-no-mori.jp



上野原縄文の森 だよい

2012.3 Vol. 22

UENOHARA JOMON NO MORI

上野原縄文の森開園10周年

表紙写真：上野原縄文の森フォトコンテスト
く あなたがとらえた森の情景～秋・冬編～
特選「縄文の空に」伊地知 国雄さんの作品

2ページ 第32回企画展「川内川流域に生きた人々」をふり返って
3ページ あなたがとらえた森の情景～秋・冬編～審査結果発表ほか
4ページ 平成23年度実施事業のご紹介
5ページ 上野原遺跡 再探訪③ ～後編～
6ページ 4月～9月までのイベント情報

川内川流域に生きた人々をふり返って

～ 激甚災害対策特別緊急事業に伴い発掘された遺跡 ～

第32回企画展も終わりとなりましたが、特に注目された遺跡を紹介します。

中世の山城、虎居城跡（さつま町）

平安時代の末期に大前氏により築城され始めた山城と言われています。

渋谷氏が13世紀に鎌倉幕府により祁答院の地頭職としてやって来ます。14世紀の終わり頃には、祁答院地方は大前氏から渋谷氏に移っていきます。その後も、島津氏の姻戚関係の入院院や、島津歳久が居城（1580～1592）し、歳久が秀吉により自刃させられた後は、都城の北郷時久が城主となり、時久の時祁答院を「宮城」と命名します。その後、島津領となり、1615年の一国一城令後は宮之城島津家の家臣等の居住地となったようです。



虎居城跡模型

調査の結果、曲輪、土塁、虎口、空堀や曲輪内の掘建柱建物跡や炉跡などが発見されました。出土品は、貴重な青磁、白磁、青花などの陶磁器や金属器、漆器類などが見つかっています。

お祭りの道具？ 下殿瀬ノ上遺跡（伊佐市）

右の出土品は、縄文時代（約3000年前）の石で作られた道具です。中央の人の形をしたもの（岩偶）は、軽石で作られており、目・鼻・口・髪・へそ・足などがリアルに表現されています。垂水市の終原貝塚や南さつま市の上加世田遺跡など、軽石を加工したものが多く出土しています。宮崎県南部でも軽石岩偶は見られ、この時期に流行したものと思われます。

周囲の勾玉・管玉や、非日常的な石器（異形石器）は、呪術・儀礼で使ったと思われるものです。



軽石岩偶と異形石器
（伊佐市教育委員会所蔵）

県内初出土の銅戈（青銅製武器） 下鶴遺跡（伊佐市）

北部九州では、弥生時代の遺跡から多くの青銅製武器が出土します。県内では旧有明町で見つかった以来、2例目の発見であり、銅戈という武器は県内初出土となりました。折れた状態でお墓と思われる土坑から発見されました。武器として使ったのでしょうか？ それとも権威を示す道具だったのでしょうか？

（上野原縄文の森 事業課 大保 秀樹）

銅戈（青銅製武器）とその使用例
（県立埋蔵文化財センター所蔵）



表彰式の様子

特選



「縄文の空に」伊地知国雄さん



「縄文へ行こう」関民子さん



「縄文の月」福重守郎さん

入選



「早朝の上野原縄文」豊廣俊治さん



「水鏡」中俣秀昭さん



「ハレイチーズ」深町育三郎さん



「晩秋の縄文の森」藤岡敏晃さん



「縄文秋の彩り」吉永文哉さん

職員おすすめスポット

縄文の森周辺のおすすめスポットをご紹介します♪



釜火を見ながら食事できるステキな場所もありますよ！

黒酢の里 福山町

上野原縄文の森から国道10号を下り、垂水市方向に車で20分程走ったところに全国的にも有名な黒酢の里である福山町があります。

福山町は海に面し、一年を通し温暖な気候のため黒酢作りにむいているのだとか。黒酢は蒸し米と米麹と地下水を「陶器の壺」に入れゆっくりと発酵・熟成させてできます。アミノ酸が豊富で疲労回復や美容にも良いそうです。また、酸味もまろやかでとても飲みやすいですよ。最近、健康ブームもあり多くの観光客が福山町を訪れています。

あなたも福山町で黒酢をためてみてはいかがでしょうか？

レストランフォレスト



見よ！携帯と比較したこの大きさを！！

縄文の森展示館2階には「レストランフォレスト」があります。そのイチオシメニューが「縄文ビッグバーガー」特大のパンズの中には存在感タップリの黒豚ハンバーグが入っています。

かぶりつくと肉汁・店長特製のソースがあふれてきてとってもジューシー！ビックリするのが、その大きさ。「これ何キロカロリーあるのかな・・？」と怖じ気づいてはダメダメ。さあ君も、レッツ縄文バーガー！

TEL/FAX 0995-46-3600

「あなたがとらえた森の情景 ～秋・冬編～」 審査結果発表！

（50音順にご紹介）

上野原縄文の森ボランティアグループ



ボランティアグループどんぐり倶楽部では1年を通して、様々な活動を行っております。活動の様子をご紹介します。



土・日・祝日は、復元集落において交代制で、「上野原遺跡」についてボランティアガイドを行っております。一期一会の気持ちでお客さまとのふれあいを楽しんでおります。



正月リース作りの様子



縄文の森春まつり・秋まつりでは、どんぐり倶楽部で出店し、くん製肉・卵など縄文料理の販売を行っています。会員が考案した、どんぐりうどんは大人気メニューです。

「どんぐり倶楽部」では会員を募集しています

詳しくは上野原縄文の森までお問い合わせください。（TEL：0995-48-5701）



平成23年度 実施事業のご紹介



一日縄文人体験



感想 おいしかった。面白かった。料理にかかるまでが（火おこし）大変だった。

縄文の森で採れる素材を使った体験活動を行っています。十二月はお正月に向けてミニ門松作りを行いました。また、二月に実施の縄文料理を作る際には、具材に縄文時代にも採れていた魚貝類などを使い、縄文鍋を作りました。土器で煮炊きを行うなど、縄文人の気分を味わい、皆さん大満足のようでした。

春・秋まつり



感想 火おこしの体験が出来て良かったです。見ているのと実際にしてみるのでは全然違いました。大変でした。

五月のゴールデンウィーク期間中に春まつり、十月に秋まつりを開催しました。ステージでは地元の高校生による普通道フオーマンズやダンスなどが披露されました。火おこしやアクセサリ作りなどが体験できる縄文体験コーナーでは、子どもたちが自分だけの作品作りに一生懸命取り組んでいました。

十五夜まつり・ミニコンサート



九月に縄文村の十五夜まつり・ミニコンサートを行いました。綱引きや相撲大会など十五夜行事を楽しみました。たくさんの子供が参加し大盛況でした。お天気も良く、夜には月の観察を行うことができました。天体望遠鏡で見る月の様子に子供達は驚きの声をあげていました。

縄文の森不思議探検



感想 学校では習っていないことがわかったので、とても勉強になりました。（小6）

小・中学生を対象にした講座です。講義や園内でのフィールドワークを行います。第1回灯火に集まる虫を調べるようでは、夜の森に照明を向け、光に集うてきた虫の採集を行います。子供たちは、捕まえた虫について県立博物館専門職員から説明を受け、興味深く観察していました。

考古学講座



感想 大隅半島の遺跡とはどんなものか実感できました。考古学は最もロマンに満ちた学問だと思いました。

上野原遺跡を中心とした、南九州の縄文文化などについて解説する一般向けの講座です。十一月には、毎年大好評の遺跡を巡るバスツアーを実施し、曾於郡大崎町の横瀬古墳などを見学しました。当日は雨と残念なお天気でしたが皆さん熱心に説明に聴き入っていました。

夏休み縄文キャンプ村



感想 縄文式の調理で夕食を作った事で、今の生活がどれほど便利で恵まれているのか、子供たちに感じて欲しいのですが、縄文式の方が楽しく手伝っていました。

復元集落の堅穴住居に実際に宿泊ができるイベントです。毎年、夏休み期間中に2回開催しています。暑中でしたが、参加者はカブトクンや縄文服作りなどの体験活動を楽しみました。縄文時代と同じ調理方法で作った夕食では、美味いとおかわりが出るなど大好評でした。

先生のための考古学講座



感想 子供と一緒に遊びに来たい施設だと思いました。また、学校でも通達や出前授業など活用できればと思います。

教職員を対象にした講座です。夏休み期間に開催しています。普段、教える立場である先生たちが生徒になり、地域の埋蔵文化財を活用した学習指導方法について勉強しました。体験活動では、発掘調査を行った遺跡へ実際に赴き、発掘作業をいまま、県立埋蔵文化財センター職員の指導のもと、熱心に取り組んでいました。

鹿児島県立大学連携講座（鹿児島県の遺跡に学ぶ）



感想 遺跡のとらえ方を考古学的な見地だけでなく植物的な見地からもとらえられてとても興味深い話でした。様々な方向から遺跡を考える大切さを感じました。

県立埋蔵文化財センターとの共催事業です。鹿児島県の遺跡から見学する先人たちの生活をわかりやすく解説することによって、皆さんに埋蔵文化財に対する興味を高めようというところから開催しています。第2回は、縄文時代の植生から、その当時食べられていた食物や人々の暮らしについて解説を行いました。